

令和6年度

学習の手引き



川北町立川北中学校

()年()組 氏名()

1 これから求められる力

ねばり強く 自ら考え いろいろな人と協力して 問題を解決していく力

2 川北中学校が今年度めざす授業

自ら 伝えて つなげる 授業

3 「授業のルール4か条」

楽しくわかりやすい授業を進めるためには、みんなでよい授業をつくるという意識が必要です。次のことをみんなでしっかりと守り、よい学習ができるようにしていきましょう。

☆正しい姿勢で授業を受ける。

1 進んで向かう授業の準備

- ・宿題を忘れない
- ・次の授業の準備を机の上に用意する
- ・チャイム前に席につく
- ・大きな声で「お願いします」「ありがとうございました」

<語先後礼>

☆学習に必要なものだけ持ってくる。
授業に必要なものだけ机の上に置く。

2 話を聴く

- ・話し手の考えに反応しながら聴く
- ・人の話は最後まで聴く
- ・自分の考えと比べながら聴く

☆話し手に体を向ける。



3 考えを持つ

- ・友達と相談する前に、必ず自分の考えや意見を持つ



4 意思表示する

- ・間違えることを恐れない
- ・クラスの仲間に向かって伝える
- ・わかりやすく、短くまとめて伝える

☆考えを発表するときは挙手をする。
指名されたら返事をして、発表する。

4 「かわきた授業スタイル」

かわきた授業スタイル
自分たちの授業を自分たちで

か かだい 課題をつかもう 
☆自分たちで課題を見つけよう
☆見通しをもとう

わ わかった！できた！に向けて
つた 伝え合おう 
くら ☆比べて聞こう
☆つなげて話そう

き 今日の学びをまとめよう
☆自分たちでまとめをつくろう 

た たし 確かめよう。できるかな？
☆自分の学びをふり返ろう 
れんしゅうもんだい ☆練習問題をしよう
はってんもんだい ちょうせん ☆発展問題に挑戦しよう

5 『全員でつくりあげる温かい授業をめざして』

～昨年度の生徒集会から～

①積極的な挙手

授業では間違いから学びが深まることがほとんどです。間違えることを恐れず、積極的に授業に参加しよう。

②全員参加のグループワーク

自分の考えや気持ちを様々な方法で表現し、他の人に伝えたり共有したりしよう。また、自分だけではなく、他の人の思いも満たすことができる方法を考え、様々な人と関わりを持とう。

③自分と相手のための聞き方

相手の立場に立ち、その人に必要なことやその人の考えや気持ちなどを想像し、理解しよう。また、自分と同じ考えでも、異なる考えでも受け止めよう。

④自ら選択、自己決定

誰とどのように課題を解決するかを自ら考え、選択し、みなさんの考えをみなさん自身でつないで授業のゴールをめざそう。

6 話し合い活動の心構

① 話し合いの基本

- 1 聴くときは、話し手のほうを向き、反応して聴くようにする。「なるほど」「うんうん」
- 2 話すときは、聴き手のほうを向き、やさしく筋道を立てて話をする。
- 3 相手への思いやりを持ち、相手の考えを尊重するようにする。
- 4 質問、賛成、反対、付け足し、修正、違う意見など、はっきり話すようにする。
- 5 理由や根拠を明確にして発表する。「なぜなら、～。」
- 6 グループ活動の前に、自分の考えや意見を持つ。

② 説明するためのポイント

- 1 これまでの学習をもとに、それを生かして説明する。
- 2 ほかにことと関連づけて説明する。
- 3 たとえて説明する。
- 4 根拠や理由を説明する。
- 5 状況や場面を説明する。
- 6 これまでの経験をもとに説明する。

③グループ活動について

グループ活動では、それぞれの役割と責任をはっきりさせよう。

- 司会**・・・グループ討議のリーダーシップをとる。一人一人の意見を聞いていく。
そして、意見や質問を引き出しながら、グループの意見をまとめていく。
- 記録**・・・グループで出た意見や質問を記録しておく。他のグループに質問する。
- まとめ**・・・発表できるように、グループの意見をホワイトボードなどにまとめる。
他のグループの質問に答える。
- 発表**・・・まとめたものを大きな声でわかりやすく発表する。

7 家庭学習について

テストの振り返りをすると、「勉強したのに、点数が伸びない」、「あれだけ時間をかけたのに・・・」という人がいます。そのような人は「勉強のやり方が身につけていない」と考えられます。中学校での家庭学習には、以下のようなものがあります。

(1) 自学ノート ※3年生は入試対策学習になります。

すべての教科に共通してできる勉強方法は、例えば、下のようなものです。

- ・ワークや授業プリントなどを何回もやってみる。
- ・授業の内容をもう一度復習してみる。

<各教科の勉強例>

- 国語・・・意味調べ、漢字ドリル練習をする。
- 社会・・・今日の授業で学習した内容を、自分なりに整理する。ワークの2回目をする。
- 数学・・・教科書やワークの問題をもう一度解く。自作問題を作り、解く。
- 理科・・・ワークの問題やプリント、問題集などの問題をする。
- 英語・・・教科書やワークの文を真似して、自分で文を考えて書いてみる。

(2) その他の家庭学習

定期テスト前には、各教科からワークなどの提出が求められます。提出期限を守って提出できるように日頃からコツコツと進めていきましょう。

8 テストの受け方について

(1) テストの種類

ア. 定期テストは年間5回実施されます。

- ①1学期中間（5月中旬） ②1学期期末（6月下旬）
- ③2学期中間（10月中旬） ④2学期期末（11月下旬）
- ⑤3学期期末（2月下旬） （※3年生は3学期期末がありません）

イ. 確認テストは年間3回実施されます。（1・2年生）

- ①4月進級テスト（春休み明け）②8月確認テスト（夏休み明け）③1月確認テスト（冬休み明け）

※3年生は、上記のテストの他に、確認テスト（6月・9月）と実力テスト（11月・12月・1月）が加わります。実力テストは、入試本番さながらのテストになります。

ウ. その他、各教科で小テストや単元テストが実施されることもあります。

(2) テスト計画について

テスト前には、学年だよりなどを通じて、テストの範囲とともに学習のポイントをお知らせします。範囲をしっかりと確認するとともに、ワークやプリントなどの課題も確認しましょう。提出物の期限も指示されますので、提出期限を守ってやり遂げましょう。

また、「学習計画表」を作成し、何をいつ学習するのか、いつまでに行うのかということをしっかり計画し学習を進めましょう。

(3) テストの受け方や良い点を取るためのコツ

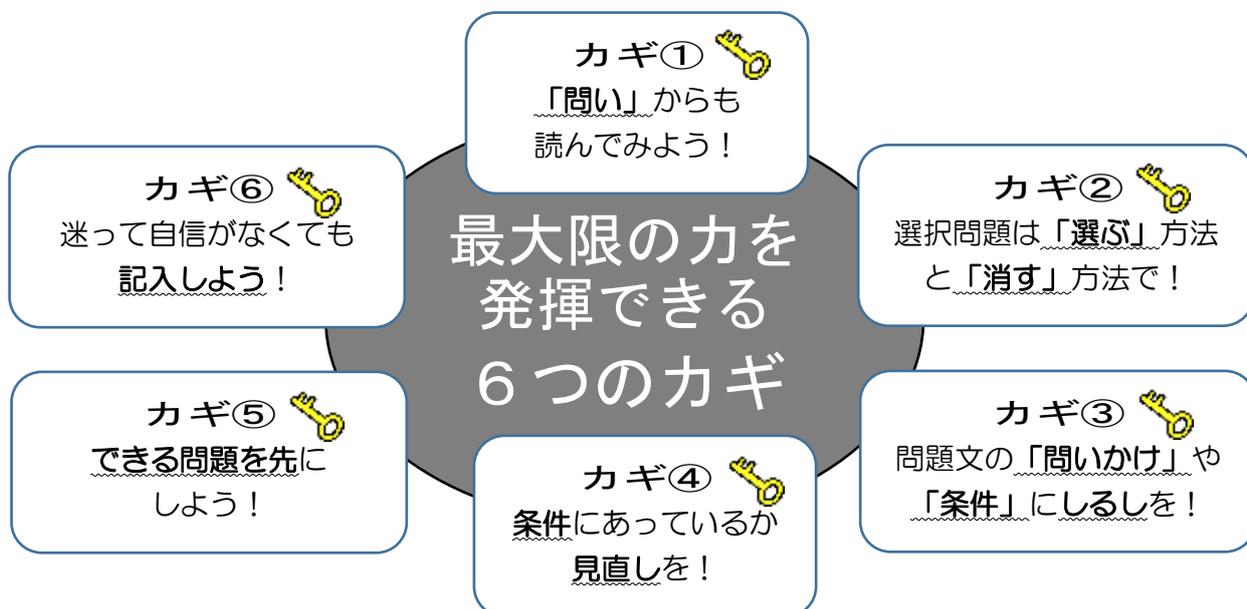
「テストの受け方8つの基本」と「最大限の力を発揮できる6つのカギ」

【評価について】

テストの結果だけではなく、授業に取り組む様子や、課題の提出なども評価に含まれます。各教科で観点があり、それぞれの観点を総合的に判断して評定がつけられます。

最大限の力を発揮できる6つのカギ

これから1年間、大事なテストがたくさんあります。最大限の実力を発揮できるように、また悔いの残らないように、次の6つのカギを知り、テストに挑んでほしいです。



カギ①🔑 「問い」からも読んでみよう！

「問い」を先に把握して、それを見つける・探す・考えるために「資料」などを読むことも1つの方法です。

- ★「問い」から読むと、目的を持って資料を読むことができます。
- ★「読んで」から「問い」に答えていたら、資料の多さに時間切れになることがあるかも。

カギ②🔑 選択問題は「選ぶ」方法と「消す」方法で！

選択問題は「選ぶ」方法と、「消し」てから見つける方法があります。

- ★これだ！とわかるときは「選ぶ」方法が良いです。
- ★はっきり違うとわかるものを「消し」、選択肢を減らすことで正解を見つける方法もあります。

カギ③🔑 問題文の「問いかけ」や「条件」にしるしを！

問題文の問いかけや、条件にマークをつけ、目立つようにする方法もあります。

- ★線を引いたり、○で囲んだりして目立つようにすることで、見落としを防げます。

カギ④🔑 条件にあっているか見直しを！

問われている条件は必ずクリアするようにします。

- ★カギ③のマークをつけたところが、しっかりできているか見直します。

「記号で答える」 → 言葉で答えていないか？

「○字で答える」 → 字数はあっているか？

「○○という言葉を使って答える」 → ○○が入っているか？

「計算」 → 時間があれば、再度計算。計算は合っているか？など

カギ⑤🔑 できる問題を先にしよう！

できる問題をきっちりと解き、自分の力を発揮できるように最後まで取り組みます。

- ★難しい問題や悩む問題のときは、一度、次の問題に進みます。
- ★とにかく最後の問題まで取り組みます。
- ★時間があれば、できなかった問題にもう一度チャレンジします。新たな発見とひらめきで解けることもあります。

カギ⑥🔑 迷って自信がなくても記入しよう！

間違えているかも？と思っても、書いてみます。

- ★記号で答える場合、迷っても近いと思うものを選びます。
- ★文章で答える場合、難しいと感じても、教科の言葉を使い、書けるところまで書きます。
- ★簡単にあきらめず挑戦する力が身につく、次につながります。



テストの受け方 8つの基本

1 チャイム3分前には、座席に着いて待っていること。

- 座席は出席番号順です。
- 教科書やノートなどは机の中に入れず、カバンやロッカーに片付けておきましょう。
- 筆記用具の確認（定規やコンパスなども）をしておきましょう。

2 配られたテスト用紙は、静かに後ろに送ること。

- テスト用紙を後ろに送るときは、話をせずに静かに送りましょう。



3 しっかり印刷されているかを確認め、クラス、番号、名前を書くこと。

- 裏表印刷がされているか、印刷に不備がないかを確認します。不備があれば、監督の先生にすぐに知らせましょう。
- 問題用紙と解答用紙に「クラス・番号・名前」を書きます。裏面や2枚目に氏名欄があれば忘れず書きましょう。
- 記入したら、開始のチャイムが鳴るまで用紙を裏面にして机の上に置き、静かに待ちましょう。

4 開始のチャイムで解答を始め、終了のチャイムが鳴った瞬間に解答をやめること。

- どのような問題が出題されているのか確認し、**見通しをもって**問題を解き始めましょう。
- 自分の力を十分に発揮することができるよう、時間配分に注意しましょう。
- 字の濃さや大きさに注意して、**ていねいな文字**で書きましょう。
- 終了のチャイムが鳴ったら、解答の途中でも解答をやめて筆記用具を置きましょう。

5 不正行為と間違われそうな行動はしないこと。

- シャベってはいけません。
- キョロキョロしたり、不必要なものを出したりしてはいけません。

6 困ったときは手を挙げて、監督の先生に知らせること。

- 鉛筆や消しゴムを落としたり、静かに手を挙げ、監督の先生に拾ってもらいましょう。
- 体調が悪いときやどうしてもトイレに行きたいときなどは、監督の先生に言いましょう。
※ただし、トイレは休み時間中に済ませておくことが原則です。

7 早く解き終わったら、繰り返し確認すること。

- 最後までねばり強く解いたり見直したりして、時間いっぱい取り組みましょう。
- 名前や解答欄に記入漏れや間違いがないかももう一度よく確かめましょう。
- **問題にあった答え方**をしているか、**誤字・脱字はないか**などを中心に見直しましょう。

8 列の後ろの人は、名簿順になるように気をつけて集めること。

- 上下や裏表もきちんとそろえましょう。
- テストを集めた後も、先生の合図まで静かに座って待ちましょう。





「教室はまちがうところだ」 (一部抜粋)

詞： 蒔田 ^{まきた} 晋治 ^{しんじ}

教室はまちがうところだ
みんなどしどし手を上げて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをワラっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと
みんなで出しあい 言いつあうなかでだ
ほんとうのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ

いつも正しくまちがいのない
答えをしなくちゃならんと思って
そういうとこだと思っているから
まちがうことがこわくてこわくて
手も上げないで小さくなって
黙りこくって時間がすぎる

しかたないから先生だけが
勝手にしゃべって生徒はうわのそら
それじゃあちっとも伸びてはいけない

神様でさえまちがう世の中
ましてこれから人間になろうと
しているぼくらがまちがったって

なにがおかしいあたりまえじゃないか
はじめからうまいこと 言えるはずないんだ
はじめから答えが 当たるはずがないんだ

なんどもなんども言っているうちに
まちがううちに
言いたいことの半分くらいは
どうやらこうやら言えてくるのだ
そうしてたまには答えも当たる

まちがいだらけの僕らの教室
おそれちゃいけない ワラっちゃいけない
安心して手を上げろ
安心してまちがえや

まちがったって誰かがよ
なおしてくれるし教えてくれる
困ったときには先生が
ない知恵しぼって教えたるで

そんな教室作ろうやあ

